

事務事業名	農地耕作条件改善事業		所属部	建設部	所属課	農地整備課
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	農地整備G	
	施策名	〈34〉農業の振興		担当者名	南波 真二	
	目的対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。		
	基本事業	〈097〉農業基盤の整備・保全		電話番号	0854-40-1068 (内線) 2401	
目的対象	担い手農家をはじめとする農家	意図	働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向上する。			予 算 科 目
			会 計 款	0:1:3:0	大 事 業 名	土地改良事業
			項 目	0:5:5:5	中 事 業 名	農地耕作条件改善事業
				2:3	中 事 業 名	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
事業実施地区の受益者	営農条件の改善により、営農の作業効率向上が図られる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H27 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	■事業の目的 排水不良や施設の老朽化等に対応するため、水路補修、畑地の土層改良、区画整理等の土地改良事業実施する。 ■実施主体:市 ①農地耕作条件改善事業(負担率:国55%、県:15%、市10%、地元20%)
④ 主な活動 R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
■工事地区 ①吉田町:1地区(吉田曾木地区) ※当該事業期間:R2～R4	特になし。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 実施済地区数	地区	1	0	1	0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)		
■吉田曾木地区 工事費:21,221千円 地元分担金:20% 充当起債:合併特例債	財源内訳	国庫支出金	千円			0		
		県支出金	千円	8,540	14,000	14,840	0	
		地方債	千円			0	2,000	0
		その他	千円	2,465	4,015	4,244	0	
		一般財源	千円	1,322	2,060	137	0	
事業費計		千円	12,327	20,075	21,221	0		

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	3年事業期間の最終年として実施した。暗渠排水や農用地の保全工事等により営農の作業性が向上した。
② 事業実施するうえでの課題	土地改良法手続きを要しない簡易な基盤整備事業であり、耕作放棄地の拡大防止に寄与している。農家の要望も多く、継続的に事業を実施していく必要がある。そのため、他事業との連携と公平性を見直しながら、農政状況の変化に対応する必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	■土地改良法手続が不要な簡易な基盤整備事業であり、耕作放棄地の拡大防止に寄与している。農家からの事業要望も多く、事業継続が必要であるが、要件の変更により、対応できない箇所が増えている。 [課題解決策] ○担い手不足の解消(※地元農家の組織化) ○地元負担率の公平性